

令和2年度  
都市計画道路 焼津広幡線(越後島工区)  
事業再評価

静岡県 交通基盤部 都市局 街路整備課

事業箇所位置図

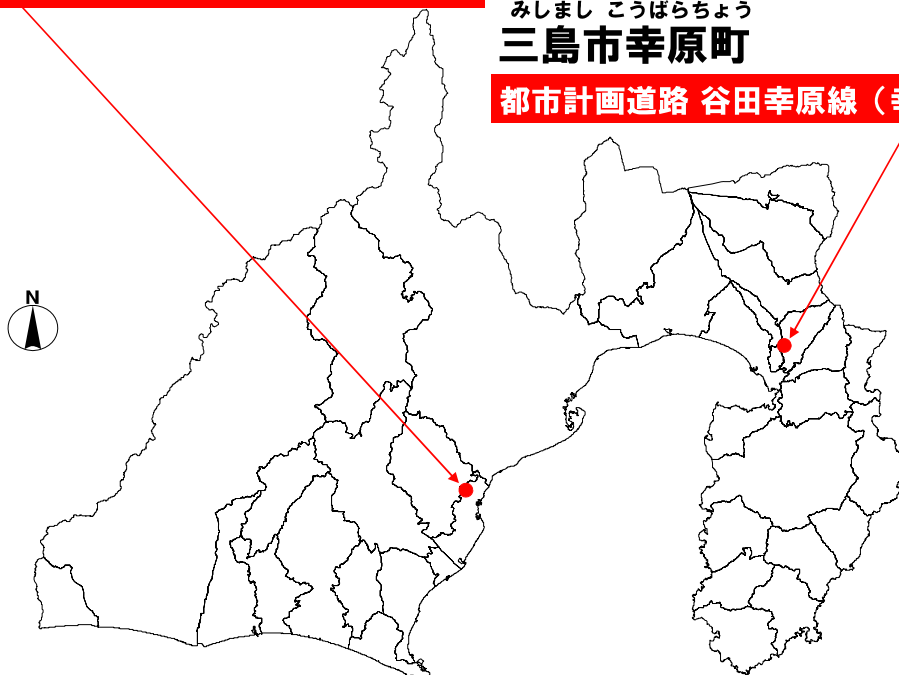
やいづし やぐすよんちょうめ やいづし えちごじま  
焼津市八楠四丁目～焼津市越後島

再評価件数:2件

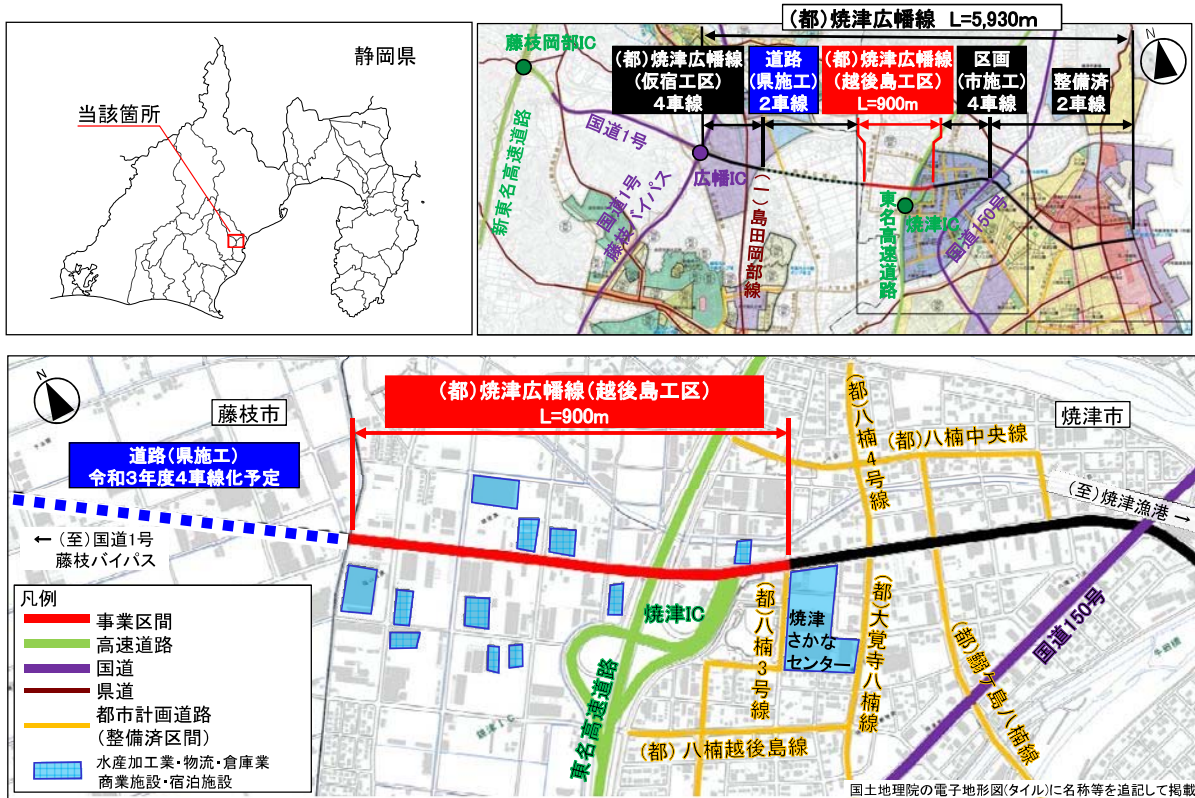
都市計画道路 焼津広幡線(越後島工区)

みしまし こうばらちょう  
三島市幸原町

都市計画道路 谷田幸原線(幸原町工区)



# 位置図

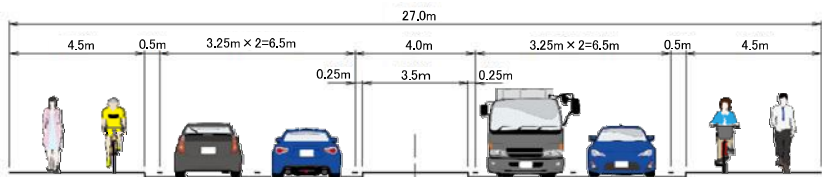


# 事業概要

## ■ 計画平面図



## ■ 標準横断面図(一般部)



## ■ 事業概要

計画延長:900m  
 道路幅員:27.0m  
 車線数:4車線

計画期間:平成28年度~令和10年度  
 全体事業費:7,058百万円  
 現況交通量:19,519台/日  
 計画交通量:28,300台/日

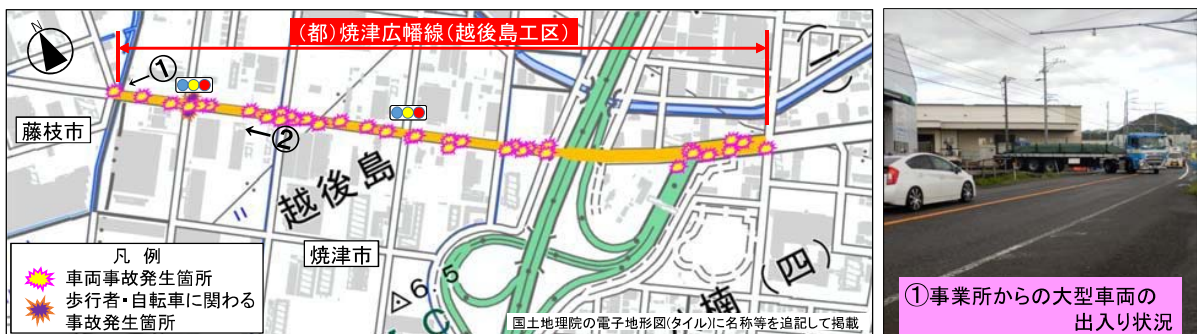
# 道路状況（交通渋滞）

- 交通量は約2万台と多く2車線のため、朝夕に交通渋滞が慢性化している。
- 交通量の増加とともに、大型車交通量も増加傾向にあり、大型車混入率は27%と国道の平均16.9%（静岡県内）を大きく上回っている。



# 道路状況（交通事故）

- 事業区間内の交通事故件数は増加傾向にあり、H26～H30の5年間で50件発生している。
- 交差点以外の場所でも多く発生しており、追突事故が全体の56%、出合頭事故が全体の26%を占めている。





# 道路状況（緊急輸送路）

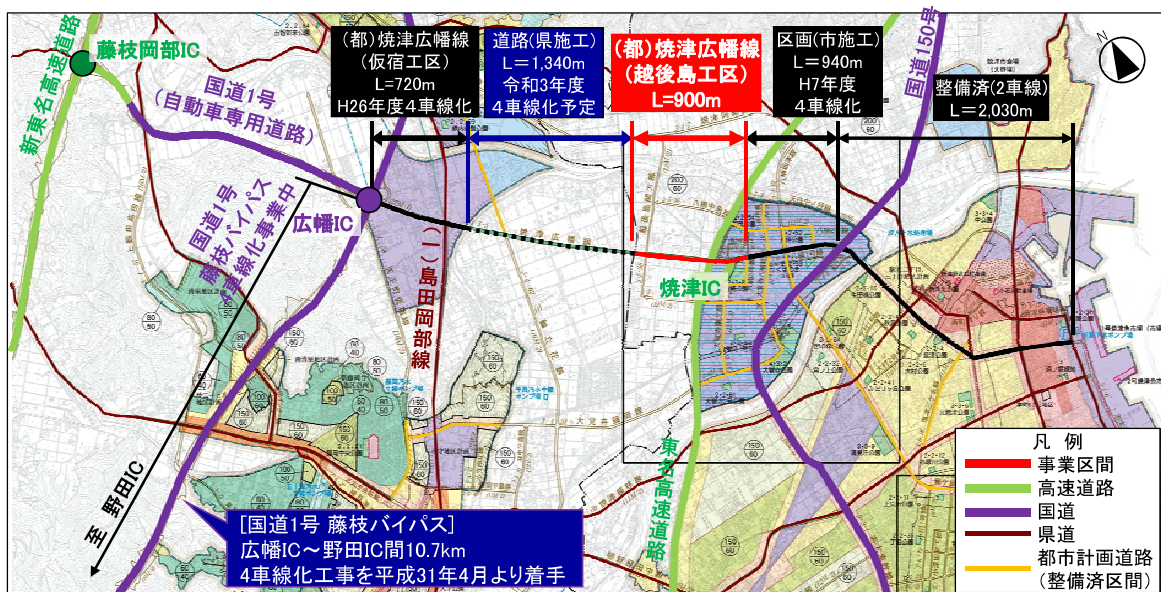
- 事業区間は、第1次緊急輸送路に指定されており、新東名高速道路(藤枝岡部IC)、東名高速道路(焼津IC)と焼津市役所ならびに藤枝総合庁舎や藤枝市立総合病院、焼津市立総合病院を結ぶ災害時の重要な路線としての機能を担っている。

## 緊急輸送路の指定状況



# 事業を巡る社会情勢の変化①

- 国道1号藤枝バイパスでは平成31年4月に広幡ICから野田IC間の4車線化工事に着手している。(都)焼津広幡線の整備も進捗しており、仮宿工区は平成26年度に4車線化完了し、続く藤枝市内の道路事業は令和3年度に4車線化が完了する見込みである。
- 全長5,930mのうち現状で約62%、令和3年度には約84%が完成することとなり、残る本事業区間の早期完成が望まれている。



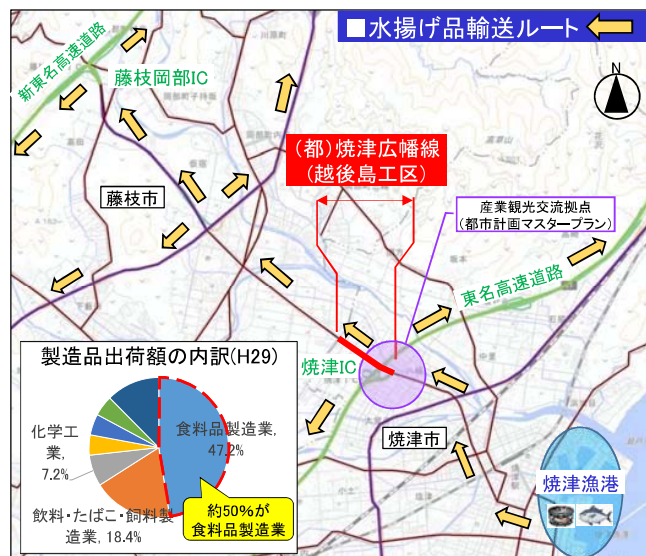
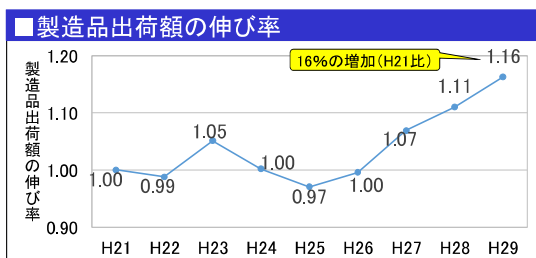
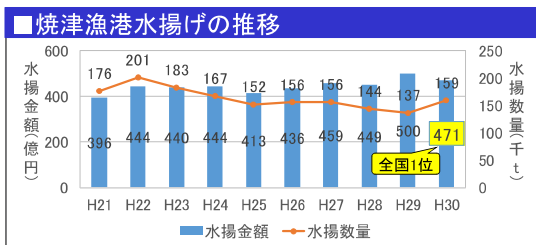
## 事業を巡る社会情勢の変化②

- 事業区間は、平成31年4月に重要物流道路に指定されており、平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するための物流上重要な道路輸送網として機能することが求められている。



## 事業を巡る社会情勢の変化③

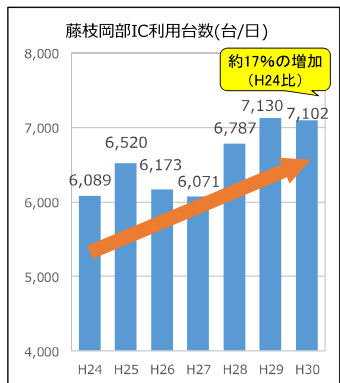
- 焼津漁港は平成30年の水揚げ金額が全国1位、水揚げ量が全国2位であるほか、焼津市における水産加工品を含む製造品出荷額は増加傾向にある。
- 本事業区間は焼津漁港から全国への出荷ルート上に位置するほか、焼津IC周辺は焼津市都市計画マスタープランにおいて、物流・生産機能の充実などにより、産業の振興や産業を通じた観光交流を促進する地域として位置づけられている。
- 今後、本事業区間の4車線化が、焼津IC周辺への企業立地や製造品出荷額の更なる増加に寄与すると考えられる。





## 事業を巡る社会情勢の変化④

- 新東名高速道路開通(H24)以降、藤枝岡部ICの利用台数は増加傾向にあるが、焼津市の観光交流客数は横ばい傾向にあるため、広域観光などを促進する都市連携軸として本事業区間の機能強化を図る必要性が増している。



出典：雑誌「高速道路と自動車」



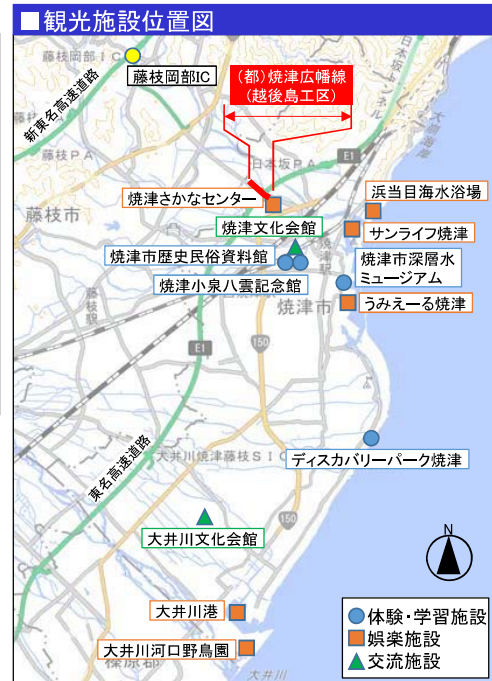
出典：静岡県観光交流の動向



■ 藤枝市 蓮華寺池公園



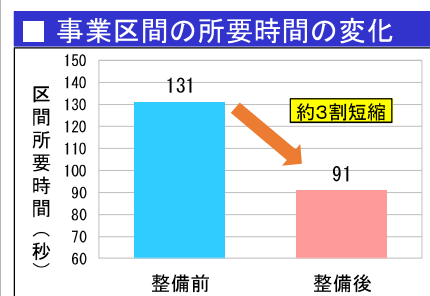
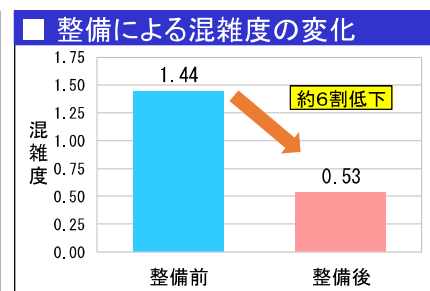
■ 焼津市 焼津さかなセンター



出典：静岡県観光交流の動向

## 道路整備効果①

- 越後島工区の4車線化により焼津IC周辺の混雑度が約6割低下 (混雑度: 1.44→0.53)
- 平均速度が向上し、事業区間の所要時間が約3割短縮 (2車線: 131秒→4車線: 91秒)



出典：整備前(平成27年度全国道路・街路交通情勢調査結果) 整備後(令和元年度将来交通量推計結果)

## 道路整備効果②

- 4車線化及び付加車線(右折レーン)の設置による交差点の安全性・走行性向上
- 両側の自転車歩行者道設置による自転車、歩行者の安全性向上



① 整備前(現況)

2車線:右折レーンなし



② 整備前(現在の歩道状況)

歩道なし



整備後のイメージ(仮宿工区)

4車線:右折レーンあり

自転車歩行者道あり



## 事業の投資効果

$$\text{費用便益比 (B/C)} = \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{総費用}} = 1.3$$

$$\text{経済的内部収益率 (EIRR)} = 5.5\%$$

総便益(B)の現在価値	84.17億円
走行時間短縮便益	79.08億円
走行経費減少便益	4.13億円
交通事故減少便益	0.96億円
総費用(C)の現在価値	60.63億円
建設投資額	61.09億円
維持管理費	0.32億円
用地残存価値	0.78億円

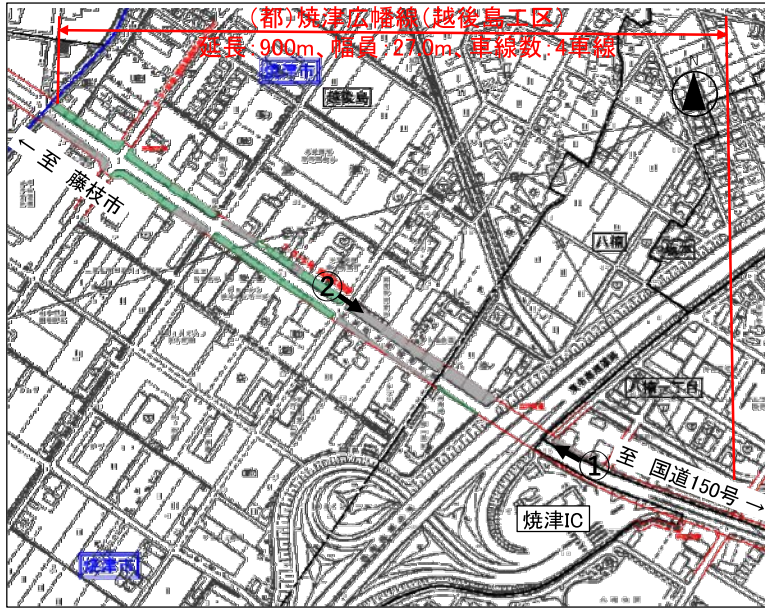
注1) 総便益及び総費用の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

注2) 総費用＝建設投資額＋維持管理費－用地残存価値



# 事業の進捗状況（用地補償）

## ■用地補償の進捗状況



【用地面積】52.6% (令和2年度末見込み)

凡 例(用地補償)	
<span style="background-color: grey; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	:取得済
<span style="background-color: green; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	:未取得

### ①焼津インター東側用地取得状況



### ②焼津インター西側用地取得状況



# 事業の進捗状況（工事）

## ■工事の進捗状況



【事業費】38.1% (令和2年度末見込み)

凡 例(工事)	
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	:施工中
<span style="background-color: green; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	:未着手

### 【撮影方向①】東名高速道路 西側



### 【撮影方向②】東名高速道路 東側





## 今後のスケジュール

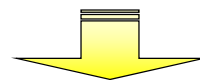
年度	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11
用地 補償	→											(令和10年度末) 供用予定		
工事				→										

## 対応方針（案）

- 焼津市市街地と東名高速道路(焼津IC)、国道1号(広幡IC)とを結び、新東名高速道路(藤枝岡部IC)へアクセスする主要な幹線道路
- 混雑の緩和による交通の円滑化
- 自転車歩行者道の設置による安全性の向上
- 4車線化及び付加車線の設置による交差点の安全性の向上



機能的な都市活動と安全で快適な都市生活に資する街路事業



**事業を継続し早期完成を図る**